

第5章 地域で支える福祉のまちづくり

第1節 地域福祉活動拠点の整備充実

福祉会館事業

福祉会館は、市民の文化及び教養の向上、知的障害児の監護、高齢者及び身体障害者の福祉の向上、増進並びに児童及び青少年の健全な育成を図ることを目的に設置されています。

福 祉 会 館 一 覧

名 称	施 設 内 容	併 設 施 設
駒木台福祉会館	舞台付大広間、会議室2室、和室、調理室	児童館、つばさ学園
流山福祉会館	舞台付大広間、会議室3室、和室2室、音楽室	
江戸川台福祉会館	舞台付集会室、会議室2室、和室	児童センター
西深井福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室、談話室、調理室	
思井福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室、相談室	児童センター
向小金福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室	児童センター
東深井福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室	身体障害者福祉センター
南福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室、調理室	
十太夫福祉会館	舞台付集会室、会議室、娯楽室(和室)	児童センター
名都借福祉会館	舞台付大広間、会議室、和室	
南流山福祉会館	舞台付大広間、体育室	
野々下福祉会館	舞台付集会室、会議室、和室	児童センター
赤城福祉会館	舞台付大広間、集会室、会議室、談話室	児童センター
平和台福祉会館	舞台付大広間、和室2室	
下花輪福祉会館 (ほっとプラザ流山)	多目的集会室、会議室、和室2室、サウナ付き 浴室	

福 祉 会 館 利 用 状 況

単位：人

利 用 団 体	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
老人団体	45,559	46,648	38,391
P T A	2,518	1,662	102
自治会	12,374	6,637	7,995
青少年	9,282	826	2,304
一般	231,202	262,785	270,061
合 計	300,935	318,558	318,853
浴室入浴者を含む合計			374,544

第2節 ボランティアの育成強化

ボランティア活動を、より広く市民に理解していただくと共に、ボランティア活動を推進するため、流山市ケアセンター内に、流山市社会福祉協議会がボランティアセンターを設置・運営しています。

1 ボランティアの募集

施設、団体、個人からの要請によるボランティアを募集しています。

2 ボランティアの養成

ボランティア活動に必要な知識や技術の習得を目的としたボランティア講座を開催しています。

ボ ラ ン テ ィ ア 講 座 (平成 18 年度)

一般講座

	年月日	内 容	講 師	参加 人数
1	平成 18 年 9 月 12 日	「点字教室」	流山市点訳奉仕会 (ボランティアグループ)	25
2	平成 18 年 9 月 26 日	1 講義 2 演習		23
3	平成 18 年 11 月 29 日	講演 「聞き方・聞く力・対人コミュニケーション力」	三島 秀介さん (ハートピアときわ代表)	11
4	平成 18 年 11 月 30 日			11
5	平成 19 年 2 月 7 日	「高齢者・視覚障害者への読み方・ 聞かせ方について」	流山朗読グループ (ボランティアグループ)	18
6	平成 19 年 2 月 14 日			14
計 (延べ人数)				102

養成講座

	年月日	内 容	講 師	参加 人数
1	平成 18 年 6 月 30 日	「車椅子に乗ってみよう ・押してみよう」	社協職員及びインストラクター (ボランティア)	13
2	平成 18 年 10 月 25 日	「高齢者疑似体験をやってみよう」	もみじの会 (ボランティアグループ)	11
計 (延べ人数)				24

3 ボランティア・グループの登録・斡旋・紹介

ボランティア活動を希望する個人やグループを登録し、ボランティア活動者を求めている施設・団体・個人等に斡旋・紹介しています。

平成 18 年度末現在登録者数 個人 744 人 グループ 1,274 人 (70 グループ) 計 2,018 人

4 ボランティア活動への支援

ボランティア活動の場の提供や、活動に必要な機材の貸出、活動中の事故等に備えるための保険加入手続きなどの支援を行っています。

5 ボランティア活動の情報提供

ボランティアセンターや「ながれやま福祉だより」、ホームページなどのメディアを通じて、ボランティア活動に関する情報を提供し、活動の促進を図っています。

(ホームページアドレス <http://www.nagareyamashakyo.com/volacen.htm>)

第3節 社会福祉協議会活動の充実

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条の規定に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間団体（社会福祉法人）で、地域で抱えるさまざまな福祉課題を地域全体の問題として捉え、住民の福祉活動の場づくり、仲間づくりなどの支援や、社会福祉に関わる公私の関係者・団体・機関と連携し、具体的な福祉サービスについて検討・企画し実施しています。社会福祉協議会の構成員は、住民主体の原則に基づき、自治会等の住民組織、民生児童委員、各種団体、関係行政機関等をもって組織され、地域で生活する皆さんと協力し合って「ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会」の実現を目指して活動しています。

1 予算

社会福祉協議会は、市民の皆様からの会費、寄付金、県・市からの補助金・委託金及び共同募金配分金、介護保険事業等の収益金を財源として運営されています。

平成19年度社会福祉法人流山市社会福祉協議会 資金収支予算総括表

(収入)

単位：円

区分	科目	合計	一般会計	在宅福祉サービス事業	居宅介護支援(公益)事業	収益(自動販売機設置)事業
経常活動による収支	会費収入	10,037,000	10,037,000	0	0	0
	寄付金収入	2,000,000	2,000,000	0	0	0
	経常経費補助金収入	66,286,000	66,286,000	0	0	0
	助成金収入	8,538,000	8,538,000	0	0	0
	受託金収入	156,422,000	112,752,000	0	43,670,000	0
	貸付事業等収入	2,600,000	2,600,000	0	0	0
	共同募金配分金収入	11,795,000	11,795,000	0	0	0
	在宅福祉サービス事業収入	108,460,000	0	108,460,000	0	0
	居宅介護支援給付金収入	27,626,000	0	0	27,626,000	0
	新予防給付金収入	5,166,000	0	0	5,166,000	0
	事業収入	1,104,000	0	60,000	2,000	1,042,000
	雑収入	1,011,000	70,000	153,000	0	788,000
	受取利息配当金収入	391,000	209,000	181,000	1,000	0
	会計単位間繰入金収入	44,043,000	6,145,000	37,898,000	0	0
	経理区分間繰入金収入	129,000	33,000	95,000	1,000	0
経常活動収入計	445,608,000	220,465,000	146,847,000	76,466,000	1,830,000	

施設 整備 等による 収支	施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	0
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0
	施設整備等収入計	0	0	0	0	0
財務 活動 による 収 支	貸付事業等収入	0	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	7,477,000	2,002,000	5,121,000	354,000	0
	その他の収入	0	0	0	0	0
	財務活動等収入計	7,477,000	2,002,000	5,121,000	354,000	0
前期末支払資金残高(前年度繰越金収入)		4,923,000	4,923,000	0	0	0
収入合計		458,008,000	227,390,000	151,968,000	76,820,000	1,830,000

(支 出)

単位：円

区分	科 目	合 計	一般会計	在宅福祉サ ービス事業	居宅介護支援 (公益)事業	収益(自動販売 機設置)事業
経常 活動 による 収 支	人件費支出	273,521,000	93,768,000	113,528,000	66,225,000	0
	事務費支出	105,726,000	72,400,000	22,744,000	9,776,000	806,000
	事業費支出	7,625,000	0	7,625,000	0	0
	貸付事業等支出	2,601,000	2,601,000	0	0	0
	権利擁護事業費	20,000	20,000	0	0	0
	共同募金配分事業費	11,795,000	11,795,000	0	0	0
	助成金支出	7,340,000	7,340,000	0	0	0
	負担金支出	662,000	361,000	195,000	106,000	0
	会計単位間繰入金支出	44,044,000	37,897,000	5,123,000	0	1,024,000
	経理区分間繰入金支出	38,000	34,000	3,000	1,000	0
	経常活動による収支	453,372,000	226,216,000	149,218,000	76,108,000	1,830,000
	経常活動資金収支差額	7,764,000	5,751,000	2,371,000	358,000	0
施設 整備 等による 収支	固定資産取得支出	0	0	0	0	0
	車両運搬具支出	171,000	0	171,000	0	0
	施設整備等支出計	171,000	0	171,000	0	0
	施設整備等資金収支差額	171,000	0	171,000	0	0
財務	貸付事業等支出	0	0	0	0	0

活動 によ る収 支	積立預金積立支出	357,000	174,000	181,000	2,000	0
	その他の支出	0	0	0	0	0
	流動資産評価減等による資金減少額等					
	財務活動等支出計	357,000	174,000	181,000	2,000	0
	財務活動資金収支差額	7,120,000	1,828,000	4,940,000	352,000	0
予備費		4,108,000	1,000,000	2,398,000	710,000	
支出合計		458,008,000	227,390,000	151,968,000	76,820,000	1,830,000

2 社会福祉協議会の活動事業

(1) 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業

このネットワーク事業は、核家族化・高齢化の進展に伴い、ますます多様化・高度化する福祉ニーズにきめ細かく対応するため、昭和61年度から進めている事業です。

この事業の推進をするため、市内の15の小校区を範疇とした小域福祉圏に「地区社会福祉協議会」を設置し、身近で、名前で呼び合える近隣関係を基盤とする住民主体の地域福祉活動を推進しています。

(2) 地区社会福祉協議会

地区社会福祉協議会は、自治会などの住民自治組織の代表や民生児童委員、主任児童委員、青少年相談員、健康づくり推進員などの委嘱ボランティアを始めとして、日赤奉仕団員、PTA関係者、小・中学校関係者、ボランティア、福祉施設代表、市社協役員等で構成され、福祉を地域全体の問題として捉え、健康増進、世代間交流等の事業を展開しています。

〔主な事業〕

ふれあいいきいきサロン、高齢者対象の会食会・見守り・友愛訪問、敬老事業、児童と高齢者の交流、児童対象の映画会、介護教室・健康講座、広報・啓発事業等地域の特性を活かし、地域に根ざした福祉活動を展開しています。

(3) ボランティア活動の振興

ボランティア活動の推進拠点として「流山市ボランティアセンター」を設置し、ボランティアの募集、養成、登録、斡旋、援助、情報提供などの事業を通じてボランティア活動の振興を図っています(第2節参照)。

(4) 老人福祉事業

一人暮らし高齢者等への給食サービス(市受託事業)
週3回以内で夕食をお届けしています。

ひとり暮らし老人日帰り交流会（市共催事業、例年3月開催）

名勝地にお招きし、一日楽しく過ごしていただいています。

介護予防訪問介護及び訪問介護事業（介護保険事業）

要介護者等に対して訪問介護員を派遣し、支援や生活援助サービスを提供しています。

介護予防通所介護及び通所介護事業（介護保険事業）

要介護者等の心身機能の維持向上と併せて介護者の身体的・精神的な負担の軽減を図るため、デイサービスセンターでは、健康チェック、入浴、食事、機能訓練等の各種サービスを提供しています。

居宅介護支援事業（介護保険事業）

要介護者等の生活状況や家族の状態等を考慮した居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス事業者と連絡調整をしながら自立した日常生活が送れるよう支援しています。

介護認定訪問調査事業（市受託事業）

介護保険法に基づく要介護認定申請者に、公正中立な立場で、心身の状況について本人や家族から聞き取り調査を行っています。

南部地域包括支援センター事業（市受託事業）

地域に居住する高齢者や家族からの介護・健康・生活全般にかかわるあらゆる相談に応じ、主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師の専門職員が互いに連携しながら、介護予防マネジメント業務、権利擁護業務、総合相談支援業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務を通じて、住み慣れた地域で尊厳を持って生活ができるようサービスの利用調整などの支援をするとともに、関係機関や地域での様々な支援ネットワークの構築を目指しています。

高齢者生活管理支援（生きがいホームヘルプサービス）事業（市受託事業）

介護保険の認定で非該当となった65歳以上の方で、日常生活上の支援が必要な高齢者に対し、自立した生活の継続と要介護状態への進行を予防するため、訪問介護員を派遣し、買物や清掃などを行っています。

（5）障害者（児）福祉事業

居宅介護・行動援護等事業（障害者福祉サービス）

障害者の家庭に訪問介護員を派遣し、家事援助や身体介護、外出支援など、自立した生活が送れるよう必要な援助サービスを行っています。

身体障害者デイサービス事業（市受託事業）

在宅身体障害者の自立と社会参加の促進と併せて介護者の身体的・精神的な負担の軽減を図るため、デイサービスセンターで健康チェック、入浴、食事、創作活動、機能訓練等の各種サービスを提供しています。

（6）生活支援サービス事業（有料）

高齢者及び身体障害者のいる世帯に訪問介護員を派遣し、家事・身体介護等の支援や援助サー

ビスを提供しています。

(7) 児童福祉・子育て支援事業

ママ&ベビーヘルプサービス事業（有料）

心身ともに不安定になりがちな産褥期の母親のいる世帯に訪問介護員を派遣し、精神的・肉体的負担を軽減するために、育児・家事等のサービスを提供しています。

(8) 福祉資金貸付事業

生活福祉資金

千葉県社会福祉協議会の各種福祉資金貸付制度の窓口として資金の貸付相談と必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲を助長促進し、在宅福祉や社会参加の促進を図っています。（「離職者支援資金・長期生活支援資金」を含む。）

高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金

高齢者や重度障害者が家族と同居するために必要な専用居室の整備や、浴室、廊下、トイレ、玄関のスロープ化、総合的な居住環境の整備（増改築）のために、千葉県社会福祉協議会の資金貸付制度の窓口として、貸付相談を行っています。

愛の資金

市内に6ヵ月以上居住する生活困窮世帯が、止むを得ない事情により一時的に生活の援護の必要が生じた場合に、応急資金の貸付をすることにより、生活意欲の助長促進と自立更生に導くことを目的として貸付を行います。（詳細については流山市社会福祉協議会へ事前にお問い合わせください。）

療養資金等

低所得世帯の方が、負傷又は疾病の療養に必要な経費や、介護保険制度における利用料等の工面が一時的に困難な場合に、その世帯の生活援助と自立更生に導くことを目的としてその費用の一部を貸付しています。

入学資金

低所得世帯の方が、高等学校や大学等へ入学するのに必要な経費の工面が一時的に困難な場合に、その世帯の福祉増進と教育の振興を目的としてその費用の一部を貸付しています。

(9) 広報・PR事業

「ながれやま福祉だより」の発行

社協の事業やボランティア、地区社協活動の紹介、市内外の福祉関連情報の提供と福祉啓発を目的として、年4回発行し、新聞折込等により市内全戸に配布しています。

ホームページ

インターネット上にホームページを開設し、最新の社協関連情報を提供しています。

アドレス <http://www.nagareyamashakyo.com>

(10) その他の相談・援護・支援事業

心配ごと相談（無料）

相談員(民生児童委員)16名により、毎週水曜日(流山市ケアセンターで10時～15時)に心配ごと相談所を開設し、市民の日常生活上の相談に応じ、問題の解決及び関係機関への連絡、紹介等適切な指導・助言を行っています。

日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）（有料）

在宅での日常生活を送る上で、十分な判断がむずかしい方や体の不自由な方が、地域で安心して生活できるよう支援する福祉サービスです。各種福祉サービスの利用のための手続きの援助等を生活支援員の派遣等により行っています。

歳末たすけあい募金配分事業

公的機関や民生児童委員の協力を得て、新たな年を迎える時期に支援を必要とする世帯や小規模福祉作業所等へ年末に援護金等をお届けしています。

法外援護事業

不測の事態により緊急援護を必要とする低所得世帯及び行路病人等に対し、自立更生のために援護金を支給しています。

火災・風水害罹災世帯への援助

火災や風水害等により住家が被災した場合は、罹災者に対し見舞金をお届けしています。

車椅子の貸出し(無料)

高齢者や障害者等に対して、車いすの貸出しをしています。

各種福祉関係団体への助成・支援

主に市内を拠点に活動している各種福祉関係団体の事業・活動に対し、助成・支援をしています。

第4節 民生委員児童委員活動

民生委員・児童委員

「民生委員・児童委員」は、民生委員法及び児童福祉法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された地域における福祉の相談・支援にあたるボランティアで、任期は3年です。

委員は、常に社会奉仕の精神をもって地域で抱えている福祉ニーズをとらえ、援助が必要な方に対して、安定し、自立した生活が送れるよう、適切な支援を行っています。

また、平成6年に設置された児童福祉専門の「主任児童委員」は、児童福祉や教育の関係機関と密接に連絡調整を図りながら、担当地域の民生委員児童委員とともに児童の健全育成に取り組んでいます。

流山市では143名の地区担当民生委員児童委員と16名の主任児童委員が委嘱され、民生委員法に定められた地区民生委員児童委員協議会（単位民児協）が8中学校区に組織されています。

各单位民児協は、13～27名の民生委員児童委員と主任児童委員で構成され、毎月1回の定例会議を開き、地域の福祉問題の分析や担当している要援護世帯への援助方法の検討などを行い、日常の活動を推進する上で必要な知識と援助技術の向上を図る大切な場となっています。

さらに、各单位民児協や他機関との連絡調整のため、流山市民生児童委員協議会連合会を組織しています。

1 3つの基本姿勢

(1) 社会奉仕の精神

社会福祉の精神をもって、社会福祉の増進に努めます。

(2) 基本的人権の尊重

民生委員・児童委員は、その活動を行うにあたって、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守ることが特に重要です。人格・信条・性別・社会的身分または門地による差別的・優先的な取り扱いはしません。

(3) 政党・政治的目的への地位利用の禁止

職務上の地位を政党または政治的目的のために利用しません。

2 3つの基本的性格

(1) 自主性

常に住民の立場に立って、地域のボランティアとして自発的・主体的な活動を行います。

(2) 奉仕性

誠意を持ち、地域住民との連帯感を持って、謙虚に無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力します。

(3) 地域性

一定の地域社会（担当区域）を基盤として、適切な活動を行います。

3 3つの活動原則

(1) 住民性の原則

自らも地域住民の一員である民生委員・児童委員は、住民に最も身近なところで、住民の立場に立った活動を行います。

(2) 継続性の原則

福祉問題の解決は、時間をかけて行うことが必要です。民生委員・児童委員の交代が行われた場合でもその活動は必ず引き継がれ、常に継続した対応を行います。

(3) 包括・総合性の原則

個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくために、その問題について包括的・総合的な視点に立った活動を行います。

4 活動の基本(7つの働き)

(1) 社会調査活動

担当区域内の住民の実態や福祉ニーズを日常的に把握します。

(2) 相談活動

地域社会が抱える問題について、相手の立場に立ち、親身になって相談にのります。

(3) 情報提供活動

社会福祉の制度やサービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供します。

(4) 連絡通報活動

住民が個々の福祉ニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう関係行政機関・施設・団体等に連絡し、必要な対応を促すパイプの役割を務めます。

(5) 調整活動

住民の福祉ニーズに対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援します。

(6) 生活支援活動

住民の求める生活支援活動を自ら行い、支援体制をつくっていきます。

(7) 意見具申活動

活動を通じて得た問題点や改善策について取りまとめ、必要に応じて民児協を通じて関係機関などに意見を提起します。

流山市民生児童委員協議会連合会

会 長	1名	(事務局)
副会長	2名	流山市社会福祉協議会内
会 計	1名	流山市平和台 2-1-2
理 事	21名	TEL 7159-4735 FAX 7159-4736
監 事	2名	

地区民生委員児童委員協議会の構成人数及び担当世帯数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

地区民児協 (中学校区)	担当区域(字名)	人 数		担当世帯数
			うち主任児童委員数	
東深井	深井新田、平方村新田、東深井、西深井、このす台、江戸川台東 4 丁目	20	2	8,448
北部	江戸川台東 1~3 丁目、江戸川台西、平方、美原、中野久木、富士見台、西初石 1 丁目、北、小屋、南、	24	2	6,305
常盤松	東初石、駒木、駒木台、青田、十太夫、美田	21	2	7,702
西初石	上新宿、上新宿新田、桐ヶ谷、谷、上貝塚、下花輪、大畔、若葉台、西初石 2~6 丁目	12	2	4,579
南部	流山 1~6・9 丁目、加、三輪野山、西平井、平和台、市野谷	21	2	8,733
南流山	大字流山、流山 7・8 丁目、鱈ヶ崎、木、南流山	15	2	10,638
八木	思井、中、芝崎、古間木、前平井、後平井、野々下、長崎、宮園	17	2	5,217
東部	前ヶ崎、向小金、名都借、松ヶ丘、西松ヶ丘	26	2	9,092
流山全域 計		156	16	60,714

第5節 民間活動

1 千葉県共同募金会流山市支会

共同募金運動は、地域住民一人ひとりのたすけあいの精神、社会福祉に対する理解や参加意識を高めるとともに、民間社会福祉事業の発展・向上に必要な資金を賄うために、各都道府県共同募金会が中心となって推進している募金運動です。

運動期間は、毎年10月1日から12月31日までの3か月間で、12月1日から31日までの1か月間は「歳末たすけあい募金運動」も一緒に展開しています。

募金活動は、各自治会の社協協力員、民生児童委員、ボランティアなどの協力を得て行っています。

(1) 一般(赤い羽根)募金

赤い羽根共同募金運動で寄せられた寄付金は、千葉県内の民間社会福祉施設や様々な社会福祉団体に配分され、設備の充実や福祉関係団体の活動の推進及び社会福祉協議会等の地域福祉活動のために使われています。

平成18年度一般募金実績(流山市支会)

区 分	金 額 (円)	割合 (%)
戸別募金	9,921,339	77.8
街頭募金	207,069	1.6
法人・商店募金	1,927,600	15.1
職域募金	121,569	1.0
学校募金	459,525	3.6
窓口募金	32,692	0.3
その他	77,521	0.6
合 計	12,747,315	100.0

流山市社会福祉協議会へ配分された共同募金の配分金は、一人暮らしのお年寄りやからだの不自由な方、又このような方を支える人や福祉関係団体等の育成や活動資金として使われます。

(2) 歳末たすけあい募金

歳末たすけあい運動では多くの生活困難世帯・罹災された世帯・里親世帯等の家庭等が明るいお正月を迎えられるよう、地域ぐるみで募金活動を展開しています。

歳末たすけあい募金運動によって寄せられた寄付金は、市内の援助を必要としている世帯や小規模福祉作業所等へ年内に配分しています。

平成18年度歳末たすけあい募金実績(流山市支会)

区 分	金 額 (円)	割合 (%)
戸別募金	3,974,000	97.2
職域募金	89,300	2.2

その他	26,557	0.6
合計	4,089,857	100.0

2 日本赤十字社流山市地区の活動

日本赤十字社は、社員（日本赤十字社を組織する構成員をいう。）を持って構成される特殊法人であり、日本赤十字社が行う事業の資金のほとんどが赤十字社員の納める「社資」及び寄附金によって賄われています。

流山市地区では、毎年5月から6月に各自治会をはじめ、市民の協力を得て「日本赤十字社員増強運動」を展開して事業基盤の確立に努めています。

社 資 額 の 推 移 単位：円

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
目 標 額	13,800,000	13,850,000	12,100,000
実 績 額	11,903,083	11,646,976	10,822,859

社資の用途

市民の皆様から寄せられた尊い社資は、日本赤十字社の事業資金として国際的救護活動とともに国内において献血事業、医療活動、看護師の養成等の活動に使われています。

流山市地区では、火災、風水害等によって、被災された世帯に災害救助物資を支給しています。

災 害 救 助 物 資 の 配 分 事 業

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
被災件数 (件)	11	8	3
毛布 (枚)	11	18	4
敷布 (枚)	11	18	4
日用品セット (個)	5	8	2
ガーゼケット (枚)	9	18	4
バスタオル (枚)	11	18	4
弔慰金 (件)	0	0	0
見舞金 (件)	11	8	2

3 市民福祉活動事業運営資金貸付制度

NPOが新たな市民福祉活動を起こす際の事業運営資金について低金利で貸付け、団体の安定した活動を支援しようとするものです。

(1) 貸付対象（団体、事業、経費）

市内に主たる事務所があり、かつ、市内において市民福祉活動を行うNPOとし、国、県、市の補助事業の認可を受けたもの、若しくは市民福祉の向上が認められる活動に対して行う。

貸付対象経費は、当該事業の運営に要する光熱水費、通信費等の役務費、使用料等です。

(2) 貸付金額、利率

1 団体 500 万円を限度とする。

(3) 償還期間、方法

1 年以内 (据置) 3 か年償還。

第6章 バリアフリーのまちづくり

急速に進む高齢社会の進展にあわせ、バリアフリーに対する意識の啓発広報活動の展開を図るとともに、住まいの改善の支援をはじめ、「千葉県福祉のまちづくり条例」に沿って公共施設や道路、公園等のバリアフリー化を官民共同で進めています。

また、一人暮らしの高齢者の方等が地域の中で安心して生活できるよう、消防機関と連携し、電話回線を利用した緊急通報体制の充実に努めています。

さらには、高齢者や障害者等にとって生活しやすいまちを目指し、公共施設周辺をバリアフリーに配慮したモデル街区として推進するとともに、防犯、防災対策の充実に努めています。

第1節 高齢者・障害者等に配慮した住宅改造の支援

1 福祉住宅改善相談

高齢者・障害者のもっている能力を最大限に活かし、介護家族等の負担の軽減と住みやすい環境づくりを促進するため、福祉住宅改造に関する相談を通常業務の中で行っています。

2 高齢者等住宅改造費の助成

65歳以上の介護を要する高齢者及び重度身体障害者のために住宅を一部改造する必要がある場合、その改造費の一部を助成します。

助成額 経費の2分の1に相当する額(限度額 300,000円)

高齢者等住宅改造費の助成状況

区 分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
件 数(件)	15	23	26
助成額(円)	2,313,000	3,274,000	3,439,000

第2節 防犯・防災対策の充実

緊急通報電話設置事業

65歳以上のひとり暮らしの方及びひとり暮らしの重度身体障害者等の緊急時に、迅速かつ適切な対応がとれるように、緊急通報装置を設置します。

利用者の所得税額に応じて費用負担があります。

平成19年3月末現在設置台数 198台（うち稼働台数 198台）

新規設置台数

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度
設置台数(台)	33	20	14